

令和6年度「未来の農業担い手育成プロジェクト事業」の実施状況

令和6年9月下旬から10月上旬にかけて、水橋地区4小学校（水橋東部小学校、水橋西部小学校、三成小学校、水橋中部小学校）に訪問し、水橋地区の国営農地再編整備事業について講義を行いました。

この講義は、本年度から、児童の農業への関心を高め、自分が住んでいる地域をみつめる契機としてもらうために、国（北陸農政局水橋農地整備事業所）・県・市が連携して実施したものです。

〔学校における講義〕

国の担当の方から、国営農地再編整備事業を通して、農業を柱とした持続可能な地域づくりと活性化に取り組んでいることを、児童に投げかけながら伝える対話型スタイルで実施。関心ある児童から「工事総額はいくらか。」「整備された農地の大きさは。」などの様々な質問がなされました。

併せて、「地下かんがいシステム」について水槽模型を用いて説明。児童らは、サイフォンの原理で地下の水位を調整する仕組みを、真剣な表情で見っていました。



国営農地再編整備事業の説明
（三成小学校にて）



地下かんがいシステムの説明
（水橋西部小学校にて）

〔整備農地とスマート農機の実演見学〕

講義の後、整備工事により大区画化された農地や、ドローンが飛行する様子を見学。児童から「工事された農地がとても広い。」や「ドローンがプログラム飛行できることを知って驚いた。」などの声が聞かれました。



見学の様子をドローンで撮影
（水橋中部小学校の児童）

〔収穫体験〕

収穫体験に先立ち、県の担当の方から富山県の気候に適したサトイモの特徴を説明。国が高収益作物の栽培可能性等を探るために設置した「地下かんがい実証ほ場」で、サトイモを収穫しました。児童からは「サトイモの葉っぱが大きい。」や「サトイモをもっといっぱい収穫したい」などの子どもらしい声があがり、楽しんで収穫体験を終えました。



高収益作物（サトイモ）の説明
（水橋東部小学校の児童）